

令和6年度 2年次生 学びのプラン

教科名	地理歴史	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	2年次																																		
科目名	日本史概論	履修	選択	開講	通年																																		
教科書		副教材	図説日本史通覧(帝国書院)・進研WINSTEP(ラーンズ)																																				
1 学習の目標 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。																																							
2 学習の方法 ① 授業について 副教材・プリントを用いて、近現代の日本における基本的知識の定着をはかります。「なぜ、そうなったのか？」などの問いかけも随時していきます。 ② ワークについて 主にプリントとワークブック(WINSTEP)を用いて、歴史的事象における背景や原因、相互の関連性などを思考・判断する力を養います。 ③ まとめと確認 重要事項を自分自身でまとめ、それを他者に伝えることで単元の理解を深めます。 ④ 授業の際に必要なもの 副教材・プリント・プリント用ファイル																																							
3 評価について ①評価の観点 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">知識・技能</td><td>日本の歴史に関する事象を、その背景や原因・相互の関連性をふまえながら理解している。</td></tr> <tr> <td>思考・判断・表現</td><td>歴史的事象について、その背景や原因・相互の関連性などについて、知識や資料を活用しながら合理的に思考し、判断する力を身につけている。また、それらを文章や図にまとめるなどして他者への確に伝えることができる。</td></tr> <tr> <td>主体的に学習に取り組む態度</td><td>日本の歴史の枠組みと流れについて、関心と問題意識を持って、主体的に学ぼうとしている。また、他者と積極的に関わりながら理解を深めようとしている。</td></tr> </table> ②評価の方法 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">観点</th><th style="width: 10%;">材料</th><th style="width: 10%;">定期 考査</th><th style="width: 10%;">プリ ント</th><th style="width: 10%;">ワー クブ ック</th><th style="width: 10%;">話し 合い</th><th style="width: 35%;">評価方法</th></tr> <tr> <td>知識・技能</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td><td>左記の○のうち、定期考査を重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「状況と努力を要する」状況と判断されるものをCとする。</td></tr> <tr> <td>思考・判断・表現</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td>左記の○のうち、定期考査をやや重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。</td></tr> <tr> <td>主体的に学習に取り組む態度</td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td>左記の○を総括しA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。</td></tr> </table>						知識・技能	日本の歴史に関する事象を、その背景や原因・相互の関連性をふまえながら理解している。	思考・判断・表現	歴史的事象について、その背景や原因・相互の関連性などについて、知識や資料を活用しながら合理的に思考し、判断する力を身につけている。また、それらを文章や図にまとめるなどして他者への確に伝えることができる。	主体的に学習に取り組む態度	日本の歴史の枠組みと流れについて、関心と問題意識を持って、主体的に学ぼうとしている。また、他者と積極的に関わりながら理解を深めようとしている。	観点	材料	定期 考査	プリ ント	ワー クブ ック	話し 合い	評価方法	知識・技能		○	○	○		左記の○のうち、定期考査を重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「状況と努力を要する」状況と判断されるものをCとする。	思考・判断・表現		○	○	○	○	左記の○のうち、定期考査をやや重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。	主体的に学習に取り組む態度			○	○	○	左記の○を総括しA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
知識・技能	日本の歴史に関する事象を、その背景や原因・相互の関連性をふまえながら理解している。																																						
思考・判断・表現	歴史的事象について、その背景や原因・相互の関連性などについて、知識や資料を活用しながら合理的に思考し、判断する力を身につけている。また、それらを文章や図にまとめるなどして他者への確に伝えることができる。																																						
主体的に学習に取り組む態度	日本の歴史の枠組みと流れについて、関心と問題意識を持って、主体的に学ぼうとしている。また、他者と積極的に関わりながら理解を深めようとしている。																																						
観点	材料	定期 考査	プリ ント	ワー クブ ック	話し 合い	評価方法																																	
知識・技能		○	○	○		左記の○のうち、定期考査を重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「状況と努力を要する」状況と判断されるものをCとする。																																	
思考・判断・表現		○	○	○	○	左記の○のうち、定期考査をやや重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。																																	
主体的に学習に取り組む態度			○	○	○	左記の○を総括しA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。																																	
4 その他																																							

5 単元の目標・評価											
単元名		日本史探究		単元名		日本文化のあけぼの					
単元の目標		日本列島における文化の成立を自然環境・大陸との影響を踏まえ考察しする。									
育成を目指す力		傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点		知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習の取り組む態度			
評価規準		◇日本列島における原始・古代の社会を理解している。			◇古代の文化成立を自然環境の変化や大陸との影響に着目して捉えることができたか。 ◇遺物などから古代社会の変化を考察できたか。			◇考古資料を基に、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて各時代の社会について考察できたか。			

単元名		日本史探究		単元名		古墳とヤマト政権					
単元の目標		ヤマト政権による国家の形成過程について、多角的・多面的に捉えて考察する。									
育成を目指す力		傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点		知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習の取り組む態度			
評価規準		◇ヤマト政権の政治制度を理解している。			◇ヤマト政権の成立を大陸との影響に着目して捉えることができたか。			◇考古資料を基に、当時の社会について考察できたか。			

単元名		日本史探究		単元名		律令国家の形成					
単元の目標		律令国家の形成・政治動向について、多角的・多面的に捉えて考察する。									
育成を目指す力		傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点		知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習の取り組む態度			
評価規準		◇律令制が成立するまでの政治動向について理解している。 ◇律令に基づく国内統治体制について理解している。			◇推古朝～平城京における政治・律令制の整備について、大陸との交流を踏まえて考察できたか。			◇文献資料を基に、政治抗争の進展と土地制度の変容を関連付けて考察できたか。			

単元名		日本史探究		単元名		貴族政治の展開					
単元の目標		摂関政治の成立過程と政治運営への影響を考察させるとともに、律令制の変質に伴う武士の成長と進出過程を理解する。									
育成を目指す力		傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点		知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習の取り組む態度			
評価規準		◇国際関係の変化や遣唐使の中止などを踏まえ、浄土教の出現、かな文学の成立による国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化を理解している。			◇藤原北家が権力を掌握していく過程を理解し、律令制の変容の観点から摂関政治を考察できたか。 ◇武士の反乱や成長などから中世社会の萌芽を見いだすことができたか。			◇文献資料を活用し、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察できたか。			

単元名		日本史探究		単元名		院政と武士の躍進					
単元の目標		院政の特徴と武士の成長、仏教の動向に着目して、社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。									
育成を目指す力		傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点		知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習の取り組む態度			
評価規準		◇院政期の政治・経済・社会・文化の特徴を理解する。			◇院政の成立背景とその後の武士の台頭の理由などに着目することができたか。			◇絵画資料を活用し、当時の地方社会や庶民の生活のあり方などを考察できたか。			

単元名	日本史探究	単元名	武家政権の成立							
単元の目標	武士の土地支配と公武関係、元などとの関係、仏教の動向に着目して、幕府の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習の取り組む態度			
評価規準	◇鎌倉幕府の政治・経済・社会・文化を土地支配形態の変化を踏まえて理解する。			◇源平争乱から幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などに着目することができたか。			◇絵画資料を読解し、武士の生活や土地支配をめぐる地頭と荘園領主との紛争などを考察できたか。			

単元名	日本史探究	単元名	武家社会の成長							
単元の目標	日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習の取り組む態度			
評価規準	◇南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、諸地域の動向などを踏まえて理解する。			◇惣村・土一揆など庶民の自治組織の成立に着目して、幕府の動揺や衰退を考察できたか。			◇流通経済の進展による農業・商工業の発達を踏まえて庶民が台頭する姿をとらえられたか。			

6 年間計画					
学期	月	単元	項目	時 数 予 定	考 査
前期	4	日本文化のあけぼの	1 文化の始まり 2 農耕社会の成立	12	前期中間 考査
		古墳とヤマト政権	1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷		
	5	律令国家の形成	1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容		
	6			20	前期期末 考査
	7				
		貴族政治の展開	1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士		
	8				
	9				
		院政と武士の躍進	1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	17	後期中間 考査
後期	10				
	11	武家政権の成立	1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	16	後期期末 考査
	12				
	1				
	2			5	
	3	武家社会の成長	1 室町幕府の成立		